

北薩の輝き

良質な教育環境づくりを推進する北薩の教育

「教職員としての矜持を胸に」

北薩教育事務所 所長 尾堂 秀一郎

令和4年度、北薩教育事務所では、9人の転入があった。所内のほぼ半数が入れ替わったことになる。下に機構図を掲載したが、今年度も所員一丸となって北薩地区の子供たちのために全力で取り組んでいきたい。

北薩地区管内では、小・中・義務教育学校あわせて89校、15,724人の児童生徒、1,576人の教職員でスタートした。地区外からも多くの教職員の転入があったが、その中には65人の新規採用教職員が含まれている。4月1日、辞令を受け取り、「教師としての第一歩」を踏み出した新規採用教職員がこれからどのような教師になりたいかを次のように記している。

- 子供たちのためにより教育者となれるよう情熱を持ち続けていきたい。
- この1年が人生を左右するかもしれないことを、心して業務にあたり、一人一人に寄り添い、向き合っていきたい。
- 子供や保護者、一緒に働く先生方、地域の方々から信頼される教師でありたい。
- 期限付教諭としてこれまでやってきた経験を生かしつつも初心に戻り、子供と一緒に成長していきたい。
- 組織の一員としての自覚を持ち、他の職員と協働できるような教師になりたい。
- 子供に夢や目標を持たせられる教師になりたい。

それぞれ大きな夢や理想を抱いていることであろう。また、不安や心配事も同じくらい大きいかもしれない。それは、初めて臨時的任用教員として配置された教職員も同じだろうと思う。誰にも1年目の時があった。つらく悩むときもあると思うが、今の気持ちを忘れず頑張っていたいただきたい。そして、同じ教職にある者として、管理職をはじめ、周囲の職員は、その頃の自分を思い返しつつ、あたたかく育てて行ってほしい。初めて教壇にたったときの気持ちを今一度振り返り、大切に持ち続けることは、極めて意味のあることではないかと思っている。

コロナ禍での3度目の春を迎えた。感染状況は今後もどうなるか未知数の部分も多いが、年度が変わり、子供たちとの新たな出会いの中で、気持ちを一新している今こそ、教職員としての矜持を改めて胸に刻み、真摯な姿勢で子供たちと向き合いたいものである。

最後に、4月7日の新聞に掲載された、投稿時、薩摩川内市立亀山小学校6年生の文章を紹介したい。

野の草

草は伸びると人間に切られる 切られて伸びるとまた切られる
 野の草はそのくり返した 草は切られてもまた伸びる
 それは草の努力だ ぼくもそんな草をまねたい
 もっと努力して もっともっと努力して
 自分の行きたい道を 生きたいんだ

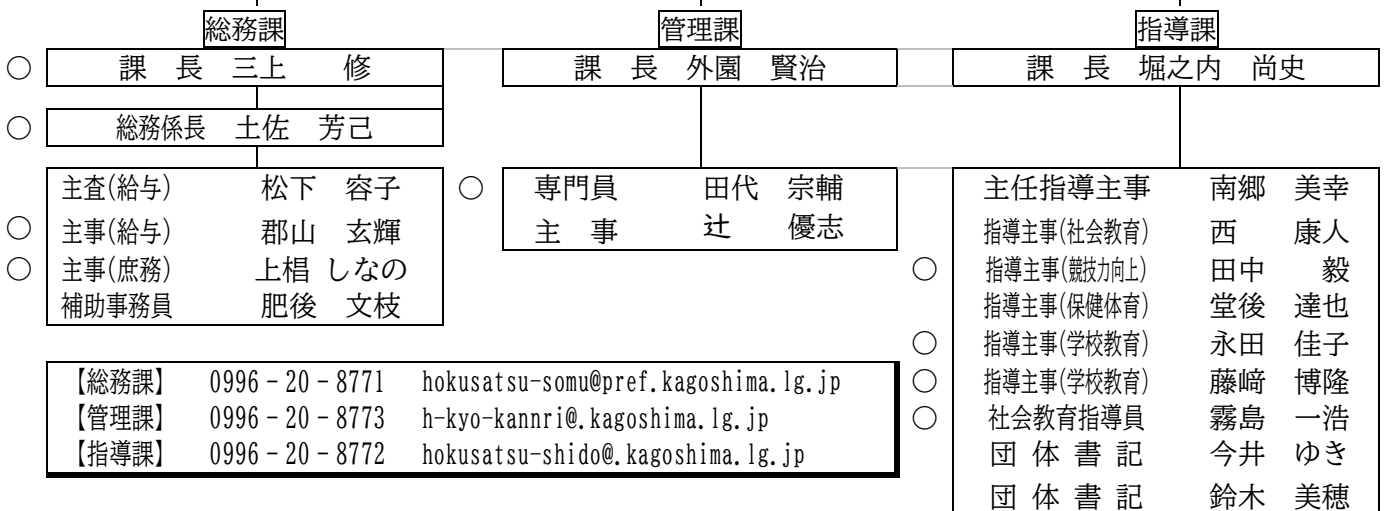


我々教職員もまた、伸び続けようとする存在でありたい。

事務所機構図

所長 尾堂 秀一郎

○のついた職員は、今年度転入してきた職員です。



【総務課】	0996-20-8771	hokusatsu-somu@pref.kagoshima.lg.jp
【管理課】	0996-20-8773	h-kyo-kannri@kagoshima.lg.jp
【指導課】	0996-20-8772	hokusatsu-shido@kagoshima.lg.jp

令和4年度 スタート

今年度も北薩教育事務所では、年度初めの挨拶回りを中止としました。新たに転入してきた職員を紹介します。どうぞよろしくお願いいたします。



3年ぶりに地元の北薩に帰って参りました。微力ながら精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。(三上)



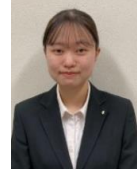
10年ぶりの北薩教育事務所勤務になりました。誠意を持って色々頑張っていきますので、よろしくお願いいたします。(土佐)



北薩地区での勤務は2回目です。市町教委と連携を図りながら、学校の教育活動に寄与できるよう頑張ります。(田代)



北薩地区での勤務は初めてです。至らないことも多々あるかと思いますが、精いっぱい頑張ります。(郡山)



4月に新規採用されました。北薩地区に来たのは初めてです。力になれるよう精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。(上栢)



奄美と北薩を行ったり来たりしています。5年ぶりに戻ってきました。北薩の子供たちを伸ばすために精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。(田中)



北薩地区の勤務は初めてです。5市町を訪れることが楽しみです。先生方、子供たち、保護者、地域の皆様のために頑張ります。(永田)



初めて本地区に勤務します。北薩地区のことを知り、子供たちや地域の人々の笑顔のために頑張りたいと思います。(藤崎)



3月に川内南中学校を定年退職しました。北薩の社会教育振興に、微力ながら貢献できるよう頑張ります。(霧島)

授業力向上を目指して

北薩教育事務所では、「北薩の授業づくり3ポイント」を基に授業力向上を目指しています。

特にラスト10分の充実を重点にし、授業で、この時間を確実に確保し、振り返りの充実を図ることで、児童生徒が「分かった・できた」を実感できる授業づくりを推進していきます。

生徒指導について

全ての児童生徒が安心して、楽しく学校生活を送れるための取組を今後ともお願いします。

- 集団内の関係構築による支持的風土づくり
- 事案発生及び欠席3日目までの初期対応の具体化（誰が、いつ、誰に、何を）
- 家庭との密な連携と信頼関係構築
- SC、SSW等との連携、警察等への訪問

事故・違反「0」に向けて

管内においては、昨年度、学校職員による事故が30件発生しており、一昨年度の11件と比較して、約3倍の増加となり、その中でも交通事故と速度違反が半数以上を占めています。

車を運転する際は、周囲の安全確認や車間距離の保持を心掛け、慌ただしい時こそ、心にゆとりをもち、交通事故や交通違反の根絶に努めましょう！

移行支援シート等による移行期における学校間連携の充実を

入学時や進学時に特別な支援を要する児童生徒について移行支援シート等による引継ぎは受けましたか。特別支援学級在籍や通級による指導を受けている児童生徒だけでなく、通常の学級に在籍する支援を行っている児童生徒についても情報提供が必要です。

令和4年度ステップアップ研修

令和4年度ステップアップ研修の北薩地区の対象者〔教諭〕は、小学校8人（義務教育学校前期課程を含む）、中学校9人、高等学校5人、特別支援学校4人です。養護教諭は4人、栄養教諭は0人です。

【編集後記】新型コロナウイルス感染症の猛威は未だ収まらず。大変で、慌ただしい時期だからこそ、落ち着いて、確認をしながら、正確な仕事をしなくてはと感じます。